

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部の学科の設置

届出

尚絅大学 現代文化学部 文化コミュニケーション学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人尚絅学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課（九品寺キャンパス）

職名・氏名 キョウムカチョウ フクモトテツヤ
教務課長・福本哲也

電話番号 096-362-2011

（夜間） 同上

e-mail kyomuk@shokei-gakuen.ac.jp

- （注） 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例） 〇〇大学 △△学部 □□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代文化学部

＜文化コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人尚綱学園

(2) 大 学 名

尚綱大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒862-8678

熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6番78号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イケミツ フカシ) 池 満 淵 (平成24年10月)		
学 長	(モリ マサト) 森 正人 (平成27年4月)	(ヤマガタ ユリコ) 山 縣 ゆり子 (令和2年4月)	令和元年12月31日付け学長 大熊 薫の辞職に伴い、令和2年1 月1日～令和2年3月31日の間、 林田俊一郎を学長代行に任命、同任 期終了による変更(2)
学 部 長	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林 田 俊一郎 (平成28年11月)	(クワバラ ヨシヤ) 桑 原 芳哉 (平成31年4月)	林田俊一郎の任期満了に伴う変 更(元)
学科長等	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林 田 俊一郎 (平成28年11月)	(クワバラ ヨシヤ) 桑 原 芳哉 (平成31年4月)	林田俊一郎の任期満了に伴う変 更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 ()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告
 された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を
 記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
現代文化学部 文化コミュニケーション学科 学士（文学）	文学関係	4年	75人	年次人	300人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	75人 () []	人 () []	75人 (—) [—]	人 () []	75人 (—) [—]	人 () []	75人 (—) [—]	人 () []	0.59倍	—	
志願者数	() []	() []	61 () []	() []	64 (—) [—]	(—) [—]	94 (—) [—]	(—) [—]	90 (1) [—]	(—) [—]			
受験者数	() []	() []	61 () []	() []	64 (—) [—]	(—) [—]	93 (—) [—]	(—) [—]	90 (1) [—]	(—) [—]			
合格者数	() []	() []	61 () []	() []	63 (—) [—]	(—) [—]	92 (1) [—]	(—) [—]	90 (1) [—]	(—) [—]			
B 入学者数	() []	() []	40 () []	() []	38 (—) [—]	(—) [—]	45 (1) [—]	(—) [—]	55 (1) [—]	(—) [—]			
入学定員超過率 B/A			0.53		0.5		0.6		0.73				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	40 [—] (—)	[—] (—)	40 [—] (2)	[—] (—)	45 [—] (—)	[—] (—)	55 [—] (—)	[—] (—)	
2 年次			[—] (—)	[—] (—)	35 [—] (—)	[—] (—)	37 [—] (—)	[—] (—)	44 [—] (—)	[—] (—)	
3 年次					[—] (—)	[—] (—)	33 [—] (—)	[—] (—)	39 [—] (—)	[—] (—)	
4 年次							[—] (—)	[—] (—)	31 [—] (—)	[—] (—)	
計							115 [—] (—)	[—] (—)	169 [—] (—)	[—] (—)	

・ 令和3年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	40 人	3 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)、除籍(1名)
令和元年度	75 人	6 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4名)
			令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和2年度	115 人	2 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		11 人		11 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{40} = \boxed{7.5} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{75} = \boxed{8} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{115} = \boxed{1.73} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代文化学部 文化コミュニケーション学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任 担任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初年次教育	スタディスキル	1前	1					1			
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	5	1	2	0	0	0
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2						1		
	日本語表現Ⅱ	1後	2						1		
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	2	1			
	クリティカル・シンキング	2前	2			1					
	小計(4科目)	－	8	0	0	4	2	1	2	0	0
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1					
	読書と豊かな人間性	4前		2		1					
	小計(4科目)	－	2	6	0	2	0	0	0	0	4
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1					
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラシー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2			1					
	アドミニストレーション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1
小計(13科目)	－	6	20	0	2	6	0	0	0	5	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通開講科目	熊本学	1前		1		1	1				
	日本伝統文化入門	1後		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	1	1	0	0	0	1
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1			1
	基礎セミナー	1前	1			9	2		1		
	小計(2科目)	-	2	0	0	10	2	1	1	0	1
	小計(2科目)	-	2	0	0	10	2	1	1	0	1
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2			1					
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				1
	クリティカル・リーディング	1後	2			2	2	1			
	クリティカル・シンキング	2前	2			1					1
	小計(4科目)	-	8	0	0	4	3	1	0	0	2
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1	1				
	読書と豊かな人間性	4前		2							1
	小計(4科目)	-	2	6	0	1	1	0	0	0	5
社会理解	経済と社会Ⅰ	1後	2			1					
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2			1				
	政治と社会	1前	2			1					
	法と社会	1後		2		1					
	メディアリテラシー	1前		2			1				
	日本国憲法	2後		2		1					
	民法入門	2後		2		1					
	女性と社会	2前	2			1					
	アドミニストレーション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2		1					
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2		1					
	小計(13科目)	-	6	20	0	8	2	0	0	0	3

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
文学・ 歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2		1					
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	-	0	8	0	2	1	0	0	0	1
心理・ 教育	生涯学習概論	1前		2		1					
	図書館概論	1前		2							1
	生涯発達心理学	2前		2		1					
	児童サービス論	2後		2		1					
	教育心理学	3前		2		1					
	特別支援教育概論	3後		2							1
	小計(6科目)	-	0	12	0	4	0	0	0	0	2
調査 分析 基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2		1					
	基礎数学Ⅱ	1後		2		1					
	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
	情報処理Ⅱ	1後	1			1					
	課題探求プロジェ クト入門	1後	2						1		
	社会調査法	1前		2		1					
	基礎統計Ⅰ	2前		2		1					
	基礎統計Ⅱ	2後		2		1					
	情報サービス論	2前		2							1
	質的調査法	2前		2		1					
	応用統計	3後		2		1					
	小計(11科目)	-	4	16	0	3	6	0	1	0	1
多文化 コミュニ ケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1			
	初級中国語Ⅰ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅱ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅲ	1後		1			2				
	小計(10科目)	-	10	0	0	0	0	0	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
文学・ 歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1		
	東アジア近現代史	1前		2		1					
	日本近現代史	2前		2		2					1
	原書で楽しむ絵本 の世界	2後		2							1
	小計(5科目)	-	0	10	0	4	0	0	1	0	2
心理・ 教育	生涯学習概論	1前		2							1
	図書館概論	1前		2		1					
	生涯発達心理学	2前		2							1
	児童サービス論	2後		2							1
	教育心理学	3前		2							1
	特別支援教育概論	3後		2							1
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	5
調査 分析 基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2							1
	基礎数学Ⅱ	1後		2							1
	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
	情報処理Ⅱ	1後	1			1					
	課題探求プロジェ クト入門	1後	2				1				1
	社会調査法	1前		2			1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2							1
	基礎統計Ⅱ	2後		2							1
	情報サービス論	2前		2		1					
	質的調査法	2前		2							1
	応用統計	3後		2							1
	小計(11科目)	-	4	16	0	3	2	0	0	0	7
多文化 コミュニ ケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1			
	初級中国語Ⅰ	1前		1		1	1				
	初級中国語Ⅱ	1前		1		1	1				
	初級中国語Ⅲ	1後		1		1	1				
	小計(10科目)	-	10	0	0	0	0	0	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
多 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	初級中国語Ⅳ	1後		1			2				
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	海外語学研修（中国語）	1後		1			1				
日 本 語 教 育	海外語学研修（韓国語）	1後		1		1					
	小計(20科目)	-	6	14	0	12	17	6	0	0	9
	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
体 育	小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0	0
	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
多 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	初級中国語Ⅳ	1後		1		1	1				
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	海外語学研修（中国語Ⅰ）	1通		1		1					
日 本 語 教 育	海外語学研修（中国語Ⅱ）	1通		1		1					
	海外語学研修（韓国語Ⅰ）	1通		1		1					
	海外語学研修（韓国語Ⅱ）	1通		1		1					
	海外語学研修（英語）	1通		1			2				
	Fundamentals of EnglishⅠ	1前		1				1			
	Fundamentals of EnglishⅡ	1後		1			1				
	総合中国語	1後		1		1	1				
	総合韓国語	1後		1		1					
	小計(27科目)	-	6	21	0	22	15	7	0	0	9
	日本語学概論	1後		2			1				
体 育	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2		1					
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)	-	0	16	0	3	5	0	0	0	0
	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
体 育	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
キ ャ リ ア 形 成	キャリア形成入門	1後	2						1		
	キャリアデザインⅠ	2前	1						1		
	キャリアデザインⅡ	2後	1						1		
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)	－	4	1	0	1	0	0	3	0	0
専 門 導 入 科 目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1					
	言語表現文化論入門	1後		2		1					
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2				1			
	アジア事情	2前		2		1	1				
	文学研究概論	2前		2		1					
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2				1			
	小計(8科目)	－	0	16	0	5	2	2	0	0	0
共 通 実 践 科 目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2			1				
	プレゼンテーション概論	2後		2			1				
	プレゼンテーション演習	3前		2			1				
	社会コミュニケーション実践論	2前		2			1				
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2				3	2	1	1	
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2			3	2	1	1	
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2			1				
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2			1				
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2				1			
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2				1			
	小計(11科目)	－	2	20	0	12	7	2	2	0	0
実 践 外 国 語 科 目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2				1			
	検定中国語Ⅲ	3後		2				1			
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2				2			
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2				1			
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2				1			
	検定韓国語Ⅱ	3前		2				1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
キ ャ リ ア 形 成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1					
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1					
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)	－	4	1	0	3	0	0	0	0	1
専 門 導 入 科 目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1					
	言語表現文化論入門	1後		2		1			1		
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2		1					
	アジア事情	2前		2		2	1				
	文学研究概論	2前		2		1	1		1		
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2			1				
	小計(8科目)	－	0	16	0	7	4	0	2	0	0
共 通 実 践 科 目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2		1					
	プレゼンテーション概論	2後		2		1					1
	プレゼンテーション演習	3前		2							1
	社会コミュニケーション実践論	2後		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2				1				
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2			1				
	地域マネジメント研修Ⅰ	3前		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2			1				
	小計(11科目)	－	2	20	0	5	5	0	0	0	2
実 践 外 国 語 科 目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2							1
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
実践外国語科目	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2		1					
	TOEIC PreparationⅡ	3前		2		1					
	小計(16科目)	－	0	32	0	7	8	2	0	0	4
文芸文化	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2		1					
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2						1	
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2						1	
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
小計(17科目)	－	0	32	0	9	3	0	3	0	2	
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
実践 外国 語科 目	検定韓国語Ⅲ	3後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳 演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1				
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2				1			
	TOEIC Preparation Ⅰ	2後		2				1			
	TOEIC Preparation Ⅱ	3前		2				1			
	小計(16科目)	－	0	32	0	2	5	3	0	0	6
文芸 文化	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
小計(17科目)	－	0	32	0	8	3	0	4	0	2	
情報 メ デ ィ ア 文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2		1	1				1
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メ デ ィ ア 文 化	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
小計(17科目)		-	0	32	0	7	8	0	1	0	2
日本・東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2		1					
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
小計(18科目)		-	0	36	0	5	10	2	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メ デ ィ ア 文 化	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1							1
	Webデザイン演習Ⅱ	3後		1							1
	文化社会学	3前		2							1
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
小計(17科目)		-	0	32	0	6	7	0	0	0	7
日本・東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2		1					
	国際関係論	2後		2							1
	日中文化交流史	2後		2							1
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2		1	1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2		1					
	中国社会文化論	3前		2		1					
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2		1					
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4後		2							1
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			2				1
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4通		2		1					
小計(18科目)		-	0	36	0	10	7	0	0	0	4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
観 光 文 化	観光総論	2後		2		1		1				
	観光産業論	2後		2				1				
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1				
	観光実務	3後		2		1		1				
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1				
	旅行業法規	4前		2				1				
	フード・ツーリズム論	4前		2							1	
	小計(7科目)	－	0	14	0	2	0	6	0	0	1	
演 習 ・ 卒 論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			9	8	2	1			
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			9	8	2	1			
	卒業論文・卒業研究	4通	6			9	8	2	1			
	小計(3科目)	－	10	0	0	27	24	6	3	0	0	
司 書 に 関 する 科 目	図書館情報技術論	1後			2	1						
	図書館制度・経営論	1後			2	1						
	図書館サービス概論	2前			2	1						
	情報サービス演習(A)	2前			1						1	
	情報サービス演習(B)	2後			1						1	
	図書館情報資源概論	3前			2						1	
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1						1	
	図書・図書館史	4後			1						1	
	図書館実習	4通			1	1						
	小計(13科目)	－	0	0	18	8	0	0	0	0	5	
合計(188科目)			－	44	277	18	119	101	29	15	0	39
卒業要件及び履修方法												
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
観 光 文 化	観光総論	2後		2		1	1					
	観光産業論	2後		2							1	
	コンテンツ・ツー リズム論	3前		2			1					
	観光実務	3後		2							1	
	インバウンド・ ツーリズム論	3後		2		1						
	旅行業法規	4前		2							1	
	フード・ツーリ ズム論	4前		2		1						
	小計(7科目)	－	0	14	0	3	2	0	0	0	3	
演 習 ・ 卒 論	表現コミュニケー ション演習Ⅰ	3前	2			10	6	1	1			
	表現コミュニケー ション演習Ⅱ	3後	2			10	6	1	1			
	卒業論文・卒業研 究	4通	6			10	6	1	1			
	小計(3科目)	－	10	0	0	30	18	3	3	0	0	
司 書 に 関 する 科 目	図書館情報技術論	1後			2	1						
	図書館制度・経営 論	1後			2						1	
	図書館サービス概 論	2前			2						1	
	情報サービス演習 (A)	2後			1	1						
	情報サービス演習 (B)	2後			1						1	
	図書館情報資源概 論	3前			2						1	
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習 (A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習 (B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特 論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1	1						
	図書・図書館史	4後			1						1	
	図書館実習	4通			1	1						
	小計(13科目)	－	0	0	18	8	0	0	0	0	5	
合計(198科目)			－	44	288	18	138	81	15	11	0	66
卒業要件及び履修方法												
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通開講科目	熊本学	1前		1		1	1				
	日本伝統文化入門	1後		1							1
	小計(2科目)	－	0	2	0	1	1	0	0	0	1
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1			1
	基礎セミナー	1前	1			6	3	1	1		
	小計(2科目)	－	2	0	0	7	3	2	1	0	1
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2			1	1				
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				1
	クリティカル・リーディング	1後	2			2	1	2			
	クリティカル・シンキング	2前	2			1	1		1		1
	小計(4科目)	－	8	0	0	4	4	2	1	0	2
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1	1				
	読書と豊かな人間性	4前		2							1
	小計(4科目)	－	2	6	0	1	1	0	0	0	5
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2								1
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラシー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2				1				
	アドミニストレーション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1
小計(13科目)	－	6	20	0	0	7	0	0	0	6	
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1		
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	－	0	8	0	1	1	0	1	0	1
心理・教育	生涯学習概論	1前		2							1
	図書館概論	1前		2		1					
	生涯発達心理学	2前		2							1
	児童サービス論	2後		2							1
	教育心理学	3前		2							1
	特別支援教育概論	3後		2							1
	小計(6科目)	－	0	12	0	1	0	0	0	0	5

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通開講科目	熊本学	1前		1		1						
	日本伝統文化入門	1後		1							1	
	小計(2科目)	－	0	2	0	1	0	0	0	0	1	
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1			1	
	基礎セミナー	1前	1			8	2	1	1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	9	2	2	1	0	1	
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2			1						
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				1	
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	1	1				
	クリティカル・シンキング	2前	2			1	1				1	
	小計(4科目)	－	8	0	0	5	3	1	0	0	2	
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2	
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2	
	国際日本学	1前		2		1	1					
	読書と豊かな人間性	4前		2							1	
	小計(4科目)	－	2	6	0	1	1	0	0	0	5	
社会理解	経済と社会Ⅰ	1後	2								1	
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1	
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1	
	政治と社会	1前	2				1					
	法と社会	1後		2			1					
	メディアリテラシー	1前		2			1					
	日本国憲法	2後		2			1					
	民法入門	3前		2			1					
	女性と社会	2前	2			1						
	アドミニストレーション入門	2後		2							1	
	人権論	3後		2			1					
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1	
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1	
	小計(13科目)	－	6	20	0	1	6	0	0	0	6	
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1						
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1			
	東アジア近現代史	1前		2		1						
	日本近現代史	2前		2							1	
	小計(4科目)	－	0	8	0	2	0	0	1	0	1	
心理・教育	生涯学習概論	1前		2							1	
	図書館概論	1前		2		1						
	生涯発達心理学	2前		2							1	
	児童サービス論	2後		2							1	
	教育心理学	3前		2							1	
	特別支援教育概論	3後		2							1	
	小計(6科目)	－	0	12	0	1	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2		1				
	基礎数学Ⅱ	1後		2		1				
	情報処理Ⅰ	1前	1			1				
	情報処理Ⅱ	1後	1			1				
	課題探求プロジェクト入門	1後	2				1			1
	社会調査法	1前		2		1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2		1				
	基礎統計Ⅱ	2後		2		1				
	情報サービス論	2前		2		1				
	質的調査法	2前		2						1
	応用統計	3後		2		1				
小計(11科目)		-	4	16	0	3	7	0	0	2
多文化コミュニケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1		
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1		
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1		
	初級中国語Ⅰ	1前		1			2			
	初級中国語Ⅱ	1前		1			2			
	初級中国語Ⅲ	1後		1			2			
	初級中国語Ⅳ	1後		1			1			1
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1			1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1			1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1				1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1				1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1				1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1				1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1				1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1						2
	海外語学研修(中国語Ⅰ)	1通		1			1			
	海外語学研修(中国語Ⅱ)	1通		1			1			
	海外語学研修(韓国語Ⅰ)	1通		1		1				
	海外語学研修(韓国語Ⅱ)	1通		1		1				
	海外語学研修(英語)	1通		1			2			
小計(23科目)		-	6	17	0	13	19	6	0	10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2						1
	基礎数学Ⅱ	1後		2						1
	情報処理Ⅰ	1前	1			1				
	情報処理Ⅱ	1後	1			1				
	課題探求プロジェクト入門	1後	2				1			1
	社会調査法	1前		2		1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2						1
	基礎統計Ⅱ	2後		2						1
	情報サービス論	2前		2		1				
	質的調査法	2前		2						1
	応用統計	3後		2		1				
小計(11科目)		-	4	16	0	3	3	0	0	6
多文化コミュニケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1		
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1		
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1		
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1		
	初級中国語Ⅰ	1前		1		1	1			
	初級中国語Ⅱ	1前		1		1	1			
	初級中国語Ⅲ	1後		1		1	1			
	初級中国語Ⅳ	1後		1		1				1
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1			1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1				1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1				1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1				1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1				1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1				1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1						2
	海外語学研修(中国語Ⅰ)	1通		1		1				
	海外語学研修(中国語Ⅱ)	1通		1		1				
	海外語学研修(韓国語Ⅰ)	1通		1		1				
	海外語学研修(韓国語Ⅱ)	1通		1		1				
	海外語学研修(英語)	1通		1			2			
	Fundamentals of EnglishⅠ	1前		1				1		
	Fundamentals of EnglishⅡ	1後		1			1			
	総合中国語	1後		1		1	1			
	総合韓国語	1後		1		1				
小計(27科目)		-	6	21	0	22	14	7	0	10

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手
日本語教育	日本語学概論	1後		2			1			
	音声言語	2前		2			1			
	日本語史	4前		2		1				
	心理言語学	2前		2			1			
	日本語教育文法	3前		2			1			
	日本語教授法	3後		2			1			
	ことばと社会	4前		2		1				
	日本語教育実習	4前		2			1			
	小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0
体育	体育Ⅰ	1前		1						1
	体育Ⅱ	1後		1						1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	2
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1				
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1				
	インターンシップ	3前		1		1				
	小計(4科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	1
専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1				
	言語表現文化論入門	1後		2		1			1	
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1				
	観光文化学入門	1後		2				1		
	アジア事情	2前		2		1	2			
	文学研究概論	2前		2		1	1		1	
	メディア表現論	2前		2			1			
	観光文化論	2前		2				1		
	小計(8科目)	-	0	16	0	5	4	2	2	0
共通実践科目	社会学概論	2後		2			1			
	マーケティング論	2後		2		1				
	プレゼンテーション概論	2後		2		1				
	プレゼンテーション演習	3前		2		1				
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1				
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			2	2	1		1
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		2	2	1		1
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1				
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1				
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1			
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2						1
	小計(11科目)	-	2	20	0	9	7	2	0	3
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1			
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1			
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1			
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2			
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手
日本語教育	日本語学概論	1後		2			1			
	音声言語	2前		2			1			
	日本語史	4前		2		1				
	心理言語学	2前		2			1			
	日本語教育文法	3前		2			1			
	日本語教授法	3後		2			1			
	ことばと社会	4前		2		1				
	日本語教育実習	4前		2			1			
	小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0
体育	体育Ⅰ	1前		1						1
	体育Ⅱ	1後		1						1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	2
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1				
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1				
	インターンシップ	3前		1		1				
	小計(4科目)	-	4	1	0	3	0	0	0	1
専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2						1
	言語表現文化論入門	1後		2		1			1	
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1				
	観光文化学入門	1後		2		1				
	アジア事情	2前		2		2	1			
	文学研究概論	2前		2		1	1		1	
	メディア表現論	2前		2			1			
	観光文化論	2前		2				1		
	小計(8科目)	-	0	16	0	6	3	1	2	0
共通実践科目	社会学概論	2後		2			1			
	マーケティング論	2後		2						1
	プレゼンテーション概論	2後		2		1				1
	プレゼンテーション演習	3前		2						1
	社会コミュニケーション実践論	2前		2						1
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2				1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		1		1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3前		2		1				
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1				
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1			
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2						1
	小計(11科目)	-	2	20	0	4	3	2	0	5
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1			
	検定中国語Ⅱ	3前		2		1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2						1
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			1			
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践外国語科目	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2				1			
文芸文化	TOEIC PreparationⅡ	3前		2		1					
	小計(16科目)	-	0	32	0	6	8	3	0	0	4
	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
情報メディア文化	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)	-	0	32	0	8	3	0	4	0	2
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		1
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
情報メディア文化	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践外国語科目	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1				
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2				1			
文芸文化	TOEIC PreparationⅡ	3前		2				1			
	小計(16科目)	-	0	32	0	5	5	3	0	0	5
	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
情報メディア文化	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)	-	0	32	0	8	3	0	4	0	2
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2				2			1
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
情報メディア文化	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報メディア文化	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)	-	0	32	0	7	8	0	1	0	4
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			1
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)	-	0	36	0	4	11	3	0	0	2
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2							1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2		1		1			
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1			
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)	-	0	14	0	2	0	5	0	0	2
演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			8	8	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			8	8	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			8	8	2	1		
	小計(3科目)	-	10	0	0	24	24	6	3	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報メディア文化	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1							1
	Webデザイン演習Ⅱ	3後		1							1
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)	-	0	32	0	5	9	0	0	0	6
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後		2		1					
	国際関係論	2後		2							1
	日中文化交流史	2後		2							1
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2		1		1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2		1		1			
	中国社会文化論	3前		2		1	2				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2		1					
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			1
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)	-	0	36	0	9	8	3	0	0	4
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2							1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2							1
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2		1					
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)	-	0	14	0	2	0	3	0	0	3
演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			9	6	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			9	6	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			9	6	2	1		
	小計(3科目)	-	10	0	0	27	18	6	3	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
司 書 に 関 する 科 目	図書館情報技術論	1後			2	1						
	図書館制度・経営 論	1後			2						1	
	図書館サービス概 論	2前			2						1	
	情報サービス演習 (A)	2前			1	1						
	情報サービス演習 (B)	2後			1						1	
	図書館情報資源概 論	3前			2						1	
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習 (A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習 (B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特 論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1	1						
	図書・図書館史	4後			1						1	
	図書館実習	4通			1	1						
小計(13科目)		－	0	0	18	8	0	0	0	0	5	
合計(193科目)			－	44	282	18	107	114	31	13	0	57
卒業要件及び履修方法												
<教養教育科目>												
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。												
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。												
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。												
<専門教育科目>												
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。												
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。												
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。												
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。												
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。（履修科目の登録の上限：45単位（年間））												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
司 書 に 関 する 科 目	図書館情報技術論	1後			2	1					
	図書館制度・経営 論	1後			2						1
	図書館サービス概 論	2前			2						1
	情報サービス演習 (A)	2後			1	1					
	情報サービス演習 (B)	2後			1						1
	図書館情報資源概 論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習 (A)	3後			1	1					
	情報資源組織演習 (B)	3後			1	1					
	図書館情報資源特 論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1	1					
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
小計(13科目)	—	0	0	18	8	0	0	0	0	5	
合計(197科目)		—	44	286	18	123	84	28	11	0	70
卒業要件及び履修方法											
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))											

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
初 年 次 教 育	スタディスキル	1前	1					1	1			
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1				
	小計(2科目)	－	2	0	0	5	1	2	1	0	0	
日 本 語 運 用 能 力 養 成	日本語表現Ⅰ	1前	2				1					
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1					
	クリティカル・リー ディング	1後	2			1	3	2	1			
	クリティカル・シン キング	2前	2			1						
	小計(4科目)	－	8	0	0	2	5	2	1	0	0	
文 化 理 解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2	
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2	
	国際日本学	1前		2		1						
	読書と豊かな人間 性	4前		2							1	
	小計(4科目)	－	2	6	0	1	0	0	0	0	5	
社 会 理 解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1						
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1	
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1	
	政治と社会	1前	2				1					
	法と社会	1後		2			1					
	メディアリテラシー	1前		2			1					
	日本国憲法	2前		2			1					
	民法入門	2前		2			1					
	女性と社会	2前	2				1					
	アドミニストレー ション入門	2後		2							1	
	人権論	3後		2			1					
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1	
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1	
	小計(13科目)	－	6	20	0	1	7	0	0	0	5	
文 学 ・ 歴 史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1						
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1			
	東アジア近現代史	1前		2			1					
	日本近現代史	2前		2							1	
	小計(4科目)	－	0	8	0	1	1	0	1	0	1	
心 理 ・ 教 育	生涯学習概論	1前		2							1	
	図書館概論	1前		2		1						
	生涯発達心理学	2前		2							1	
	児童サービス論	2後		2							1	
	教育心理学	3前		2							1	
	特別支援教育概 論	3後		2							1	
	小計(6科目)	－	0	12	0	1	0	0	0	0	5	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2			1				
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1				
	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
	情報処理Ⅱ	1後	1			1					
	課題探求プロジェクト入門	1後	2				1		1		
	社会調査法	1前		2			1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2			1				
	基礎統計Ⅱ	2後		2			1				
	情報サービス論	2前		2		1					
	質的調査法	2前		2					1		
	応用統計	3後		2			1				
	小計(11科目)	—	4	16	0	3	7	0	2	0	0
多文化コミュニケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1			
	初級中国語Ⅰ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅱ	1前		1			1				1
	初級中国語Ⅲ	1後		1			2				
	初級中国語Ⅳ	1後		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	海外語学研修(中国語)	1後		1			1				
	海外語学研修(韓国語)	1後		1		1					
	小計(20科目)	—	6	14	0	12	15	6	0	0	11

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
日 本 語 教 育	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)		0	16	0	2	6	0	0	0	0
体 育	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	2
キ ャ リ ア 形 成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1						1		
	キャリアデザインⅡ	2後	1						1		
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)		4	1	0	1	0	0	2	0	1
専 門 導 入 科 目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1					
	言語表現文化論入門	1後		2		1					
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2				1			
	アジア事情	2前		2		1	1				
	文学研究概論	2前		2		1					
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2				1			
	小計(8科目)		0	16	0	5	2	2	0	0	0
共 通 実 践 科 目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2		1					
	プレゼンテーション概論	2後		2			1				
	プレゼンテーション演習	3前		2			1				
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			2	2	1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		2	2	1	1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2					1		
	小計(11科目)		2	20	0	8	8	2	3	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				
	中国語通訳・翻訳 演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳 演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC Preparation Ⅰ	2後		2		1					
	TOEIC Preparation Ⅱ	3前		2		1					
	小計(16科目)		0	32	0	7	8	2	0	0	4
文芸文化	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップ Ⅰ	2後		2							1
	表現ワークショップ Ⅱ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講 義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講 義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講 義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講 義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)		0	32	0	8	3	0	4	0	2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メ デ ィ ア 文 化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)		0	32	0	7	8	0	1	0	2
日 本 ・ 東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)		0	36	0	4	11	3	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
観 光 文 化	観光総論	2後		2		1		1				
	観光産業論	2後		2				1				
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1				
	観光実務	3後		2		1		1				
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1				
	旅行業法規	4前		2				1				
	フード・ツーリズム論	4前		2							1	
	小計(7科目)		0	14	0	2	0	6	0	0	1	
演 習 ・ 卒 論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			8	8	2	3			
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			8	8	2	3			
	卒業論文・卒業研究	4通	6			8	8	2	3			
	小計(3科目)	－	10	0	0	24	24	6	9	0	0	
司 書 に 関 す る 科 目	図書館情報技術論	1後			2						1	
	図書館制度・経営論	1後			2	1						
	図書館サービス概論	2前			2						1	
	情報サービス演習(A)	2前			1	1						
	情報サービス演習(B)	2後			1						1	
	図書館情報資源概論	3前			2						1	
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1	1						
	図書・図書館史	4後			1						1	
	図書館実習	4通			1	1						
小計(13科目)	－	0	0	18	8	0	0	0	0	5		
合計(188科目)			－	44	277	18	102	106	31	24	0	45
卒業要件及び履修方法												
＜教養教育科目＞ 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 ＜専門教育科目＞ 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上を修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上を修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」「【連携実務演習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・授業規模の適正化の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授1、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「女性と社会」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本文学史Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・届出時の誤謬により、「東アジア近現代史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「生涯学習概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館概論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「生涯発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「児童サービス論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「キャリア形成入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退の理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「声の文化論演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館サービス概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス演習(A)」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館基礎特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「熊本学」を新規開設。専任教員等の配置は「教授1、准教授1」。
- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「日本伝統文化入門」を新規開設。専任教員等の配置は「兼任1」。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び教育効果向上の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1、講師1」から「教授6、准教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、講師2」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・シンキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「経済と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「准教授2」に変更。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修（中国語）」を「海外語学研修（中国語Ⅰ）」及び「海外語学研修（中国語Ⅱ）」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「准教授1」。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修（韓国語）」を「海外語学研修（韓国語Ⅰ）」及び「海外語学研修（韓国語Ⅱ）」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「教授1」。
- ・語学研修の効果向上の理由により、「海外語学研修（英語）」を新規配当。専任教員等の配置は「准教授2」。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「言語表現文化論入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アジア事情」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「文学研究概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び教育効果向上の理由により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アート表現論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授1、講師1、兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「観光産業論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館制度・経営論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。

【令和2年度】

- ・時間割編成の都合により、「熊本学」の専任教員の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員の配置を「教授6、准教授3、講師1、助教1」から「教授8、准教授2、講師1、助教1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授2、准教授1、講師2」から「教授3、准教授1、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1、兼任1」から「教授1、准教授1、兼任1」に変更
- ・「民法入門」の配当年次を「2前」から「3前」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「女性と社会」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員が教授昇任により、「東アジア近現代史」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2」を「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅲ」の専任教員の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「中国語コミュニケーションⅠ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・教育効果向上のため、講師1による「Fundamentals of EnglishⅠ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、准教授1による「Fundamentals of EnglishⅡ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授1、准教授1による「総合中国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授1による「総合韓国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・時間割編成の都合により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の退職により、「社会コミュニケーション論入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「アジア事情」の専任教員の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション演習」の専任教員の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会コミュニケーション実践論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2、准教授2、講師1、兼任1」から「准教授1、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、兼任1」から「教授1、講師1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「検定中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2」を「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス英語Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅡ」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1、兼任1」から「准教授2、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「東アジア関係史」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「国際関係論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日中文化交流史」准教授1を兼任1に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅰ」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅱ」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「中国社会文化論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「台湾社会文化論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「観光実務」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「インバウンド・ツーリズム論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教1」から「教授9、准教授6、講師2、助教1」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教1」から「教授9、准教授6、講師2、助教1」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教1」から「教授9、准教授6、講師2、助教1」に変更

【令和3年度】

- ・教育効果向上のため、「熊本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任及び教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授8、准教授2、助教1」から「教授9、准教授2、助教1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・専任教員の採用により、「経済と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・教育効果向上のため、「経済と社会Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「政治と社会」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「法と社会」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「日本国憲法」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「民法入門」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「人権論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「簿記・会計Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本近現代史」の専任教員等の配置を「兼務1」から「教授2、兼任1」に変更
- ・教育効果向上のため、兼任1による、「原書で楽しむ絵本の世界（英語）」を新設
- ・時間割編成の都合により、「応用統計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1、兼任1」を「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語教育文法」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「社会コミュニケーション論入門」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「観光文化論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会コミュニケーション実践論」の配当年次を2年前期から2年後期に変更、また、専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1、講師1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」を「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定韓国語Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」を「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「講師1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「ジェンダー表象論」の専任教員の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「文化社会学」の専任教員等の配置を「准教授1」を「兼任1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「中国社会文化論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「アジア経済論」の配当年次を4年前期から4年後期に変更、また、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、兼任1」から「准教授2、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ものづくり論」の配当年次を4年後期から4年通年に変更、また、専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「観光総論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「コンテンツ・ツーリズム論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「旅行業法規」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「フード・ツーリズム論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	149 科目	13 科目	188 科目	26 科目 []	159 科目 +10	13 科目 []	198 科目 [+10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{188} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	5,700㎡	48,783㎡	58,512.20㎡ 93,426.20㎡	九品寺キャンパスへ移転 したことに伴い、専用校 舎敷地を法人へ移動、ま た、運動場用地は短大専 用となったため		
	運動場用地	0.00㎡	0.00㎡ 3,249.89㎡	3,249.89㎡ 0.00㎡	3,249.89㎡			
	小 計	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	5,700㎡ 8,949.89㎡	52,032.89㎡ 48,783㎡	61,762.09㎡ 96,676.09㎡			
	そ の 他	㎡	492.14㎡	㎡	492.14㎡			
	合 計	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	6,192.14㎡ 9,442.03㎡	52,032.89㎡ 48,783㎡	62,254.23㎡ 97,168.23㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	8,676.21㎡ 11,677.42㎡ (11,677.42㎡)	10,021.87㎡ 13,796.08㎡ (13,796.08㎡)	12,199.64㎡ 11,159.64㎡ (11,159.64㎡)	30,897.27㎡ 36,633.14㎡ (36,633.14㎡)	九品寺キャンパスへ移転 したため、九品寺キャン パスにおける校舎のみと した			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		8室 12室	2室	0室 1室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)	1室 0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		現代文化学部文化コミュニケーション学科			24 23 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	現代文化学部	125,554 [12,013] 111,781 [11,931] 157,817[6,778] 115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] (98,781 [11,631])	1,793 [50] 1,784 [54] 700[31] 1,783[48] 1,783 [48] (1,774 [52])	2 [0] (0 [0])	2,914 2,909 2,257 2,654 2,626 2,614 (2,609)	3 (0)	0 (0)	
	計	125,554 [12,013] 111,781 [11,931] 157,817[6,778] 115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] (98,781 [11,631])	1,793 [50] 1,784 [54] 700[31] 1,783[48] 1,783 [48] (1,774 [52])	2 [0] (0 [0])	2,914 2,909 2,257 2,654 2,626 2,614 (2,609)	3 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		1,246㎡ 977㎡ 898㎡		82 400		180,000 120,000		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		2,472㎡		—				
(8) 経費の見積り 及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究 費 等	100千円	90千円 400千円	図書購入費	3,650千円 200千円	3,200千円 320千円	2,500千円 3,200千円 220千円
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人 当り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,110千円 1,060千円	840千円	840千円	840千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	尚 綱 大 学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
現代文化学部 文化コミュニケーション学科	4	75	—	300	学士 (文学)	0.59	0.73	—	平成30	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	令和3年4月移転
生活科学部 栄養科学科	4	70	3年次 10	300	学士 (栄養学)	1.13	0.94		平成18	同上	
文化言語学部 文化言語学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—			昭和50	熊本県菊池郡菊陽町 武蔵ヶ丘北2-8-1	平成30年学生募集停止
大学全体	—	145	20	600	—	0.83	—	—	—	—	
大 学 の 名 称	尚 綱 大 学 短 期 大 学 部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
総合生活学科	2	80	—	160	短期大学士 (生活学)	0.58	0.76	—	昭和27年度	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	
食物栄養学科	2	80	—	160	短期大学士 (食物栄養学)	0.93	0.96	—	昭和42年度	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.98	1.03	—	昭和43年度	熊本県菊池郡菊陽町 武蔵ヶ丘北2-8-1	
大学全体	—	310	—	620	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 （専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<現代文化学部 文化コミュニケーション学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (61) <平成30年4月> 教育学士 基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	武田 昌憲 (62) <平成30年4月> 文学修士 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 日本文学史Ⅱ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (58) <平成30年4月> 修士(教育学) 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 熊本国際交流 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	小沢 日美子 (57) <平成30年4月> 修士(心理学) クリティカル・リーディング 女性と社会 生涯発達心理学 教育心理学 質的調査法 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月> 修士(経営学) クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (61) <平成30年4月> 教育学士 基礎セミナー ※ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	武田 昌憲 (63) <平成30年4月> 文学修士 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (58) <平成30年4月> 修士(教育学) 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月> 修士(経営学) クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (62) <平成30年4月> 教育学士 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	武田 昌憲 (64) <平成30年4月> 文学修士 新本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (59) <平成30年4月> 修士(教育学) 基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ(韓国語) 海外語学研修Ⅱ(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	所 吉彦 (57) <平成30年4月> 修士(経営学) クリティカル・シンキング 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (63) <平成30年4月> 教育学士 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	武田 昌憲 (65) <平成30年4月> 文学修士 新本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (60) <平成30年4月> 修士(教育学) 基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ(韓国語) 海外語学研修Ⅱ(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	所 吉彦 (57) <平成30年4月> 修士(経営学) クリティカル・シンキング 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (64) <平成30年4月> 教育学士 キャリアデザインⅡ インターンシップ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	武田 昌憲 (66) <平成30年4月> 文学修士 新本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (61) <平成30年4月> 修士(教育学) 基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ(韓国語) 海外語学研修Ⅱ(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	所 吉彦 (57) <平成30年4月> 修士(経営学) クリティカル・シンキング 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)		専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)		専	教授	桑原 芳哉 (57) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)		専	教授	桑原 芳哉 (59) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)	
		読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 卒業論文・卒業研究 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習				基礎セミナー ※ スタディスキル 図書館概論 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習				基礎セミナー ※ スタディスキル 図書館概論 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習				基礎セミナー ※ スタディスキル クリティカルシンキング 日本近現代史 図書館概論 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習	
専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月> 博士(工学)		専	教授	釜賀 誠一 (56) <平成30年4月> 博士(工学)		専	教授	釜賀 誠一 (57) <平成30年4月> 博士(工学)		専	教授	釜賀 誠一 (58) <平成30年4月> 博士(工学)	
		基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ プレゼンテーション概論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ プレゼンテーション概論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月> 文学修士		専	教授	竹下 裕俊 (53) <平成30年4月> 文学修士		専	教授	竹下 裕俊 (54) <平成30年4月> 文学修士		専	教授	竹下 裕俊 (55) <平成30年4月> 文学修士	
		基礎セミナー ※ Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III インタナショナル ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III インタナショナル ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III インタナショナル ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	教授	畠山 真一 (47) <平成30年4月> 博士(学術)		専	教授	畠山 真一 (48) <平成30年4月> 博士(学術)		専	教授	畠山 真一 (49) <平成30年4月> 博士(学術)		専	教授	畠山 真一 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	
		基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 日本語表現論Ⅰ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 日本語表現論Ⅰ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 クリティカル・シンキング 情報メディア表現文化論入門 プレゼンテーション概論 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 日本語表現論Ⅰ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 プレゼンテーション概論 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	准教授	北口 英穂 (44) <平成30年4月> 博士(中国研究)		専	准教授	北口 英穂 (44) <平成30年4月> 博士(中国研究)		専	准教授	北口 英穂 (45) <平成30年4月> 博士(中国研究)		専	教授	北口 英穂 (46) <平成30年4月> 博士(中国研究)	
		基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修(中国語) 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修(中国語) 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修Ⅰ(中国語) 海外語学研修Ⅱ(中国語) 中国語コミュニケーションⅠ アジア事情 ※ 検定中国語Ⅱ 東アジア関係史 中国社会文化論 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 総合中国語 海外語学研修Ⅰ(中国語) 海外語学研修Ⅱ(中国語) 中国語コミュニケーションⅠ アジア事情 ※ 東アジア関係史 中国社会文化論 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	

35

専任・兼任・兼任の別			職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
				担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授			黄 蘊 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）	黄 蘊 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（人間科学）
				社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 国際関係論 中国語文化論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 国際関係論 中国語文化論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 海外留学研修（英語） 社会学概論 アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 国際関係論 中国語文化論 東南アジア社会文化論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 中国語文化論 東南アジア社会文化論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 海外留学研修（英語） 社会学概論 アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 中国語文化論 東南アジア社会文化論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 海外留学研修（英語） 社会学概論 アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 中国語文化論 東南アジア社会文化論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	社会調査法 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 海外留学研修（英語） 社会学概論 アジア事情 ※ 社会調査法実習Ⅰ ビジネス中国語Ⅰ ビジネス中国語Ⅱ 中国語文化論 東南アジア社会文化論 日本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	准教授			秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
				メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	准教授			三浦 知志 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	三浦 知志 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
				日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ クリティカル・リーディング メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 メディア表現論 社会学概論 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	講師			金 承珠 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (40) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）	金 承珠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（国際地域学）
				基礎セミナー ※ 観光文化入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 日本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光実務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光実務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光実務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 日本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ コンテンツ・ツーリズム論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 日本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ コンテンツ・ツーリズム論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 日本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ コンテンツ・ツーリズム論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 日本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ コンテンツ・ツーリズム論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	
専	講師			柚木 繁之 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）	柚木 繁之 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（言語教育学）
				スタディスキル クリティカル・リーディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	川上(多田)知里 (32) <平成30年4月> 博士(文学)	専	助教	川上(多田)知里 (32) <平成30年4月> 博士(文学)									
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 課題探究プロジェクト入門 キャリア形成入門 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 表現文化概論 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
			専	助教	水谷 智彦 (31) <平成30年4月> 修士(教育学)									
					スタディスキル クリティカル・リーディング 課題探究プロジェクト入門 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 社会調査法実習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
			専	助教	山本 夢 (30) <平成30年4月> 博士(文学)									
					クリティカル・シンキング 日本文学史Ⅱ 表現文化概論 声の文化論演習Ⅰ 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
					山本 夢 (31) <平成30年4月> 博士(文学)									
					基礎セミナー ※ クリティカル・シンキング 日本文学史Ⅱ 表現文化概論 声の文化論演習Ⅰ 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
					大庭 憲 (69) <平成31年4月> 博士(文学)									
					日本語表現Ⅱ									
					田口 誠一 (60) <平成31年4月> 文学修士									
					熊本国際交流史									
兼任	准教授	柿原 一貴 (57) <平成30年4月> 体育学士	兼任	准教授	柿原 一貴 (57) <平成30年4月> 体育学士									
		体育Ⅰ 体育Ⅱ			体育Ⅰ 体育Ⅱ									
					狩生 徹 (45) <平成33年4月> 博士(農学)									
		フード・ツーリズム論			フード・ツーリズム論									
					水谷 智彦 (32) <平成29年10月> 修士(教育学)									
					スタディスキル クリティカル・シンキング 課題探究プロジェクト入門 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 社会調査法実習Ⅱ									
			兼任	教授	田中 将之 (60) <平成31年4月> 修士(学校教育)									
					生涯発達心理学 教育心理学									
兼任	講師	坂田 弘子 (66) <平成30年4月> 医学博士	兼任	講師	坂田 弘子 (67) <平成30年4月> 医学博士									
		日本伝統文化Ⅰ ※			日本伝統文化Ⅰ ※									
兼任	講師	飯富 章宏 (62) <平成30年4月> 経済学士	兼任	講師	飯富 章宏 (63) <平成30年4月> 経済学士									
		日本伝統文化Ⅰ ※			日本伝統文化Ⅰ ※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	吉田 裕美子 (65) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (65) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (66) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (67) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (67) <平成31年4月> 短大卒業
		日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※
兼任	講師	下城 香 (75) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (75) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (76) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (77) <平成31年4月> 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (78) <平成31年4月> 短大卒業
		日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※
兼任	講師	宮島 克宣 (70) <平成32年4月> 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (70) <平成32年4月> 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (71) <平成32年4月> 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (72) <平成32年4月> 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (73) <平成32年4月> 経済学士
		簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ
兼任	講師	古田 弘子 (59) <平成32年4月> 博士(心身障害学)	兼任	講師	古田 弘子 (59) <平成32年4月> 博士(心身障害学)	兼任	講師	古田 弘子 (60) <平成32年4月> 博士(心身障害学)	兼任	講師	古田 弘子 (61) <平成32年4月> 博士(心身障害学)	兼任	講師	古田 弘子 (62) <平成32年4月> 博士(心身障害学)
		特別支援教育概論			特別支援教育概論			特別支援教育概論			特別支援教育概論			特別支援教育概論
兼任	講師	渡辺 善文 (49) <平成31年4月> 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (49) <平成31年4月> 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (50) <平成31年4月> 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (51) <平成31年4月> 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (52) <平成31年4月> 高校卒業
		情報デザイン論			情報デザイン論			アート表現論Ⅰ 情報デザイン論			アート表現論Ⅰ 情報デザイン論 プレゼンテーション概論			アート表現論Ⅰ 情報デザイン論 プレゼンテーション概論
兼任	講師	房 瑋 (54) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (54) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (55) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (56) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (57) <平成31年4月> 文学修士
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ			中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	中国語コミュニケーションⅠ			中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ	兼任	講師	中国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	濱名 理香 (54) <平成31年4月> 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (54) <平成31年4月> 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (55) <平成31年4月> 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (56) <平成31年4月> 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (57) <平成31年4月> 文学士
		表現ワークショップⅠ			表現ワークショップⅠ			表現ワークショップⅠ ジェンダー概論			表現ワークショップⅠ ジェンダー概論	兼任	講師	表現ワークショップⅠ ジェンダー概論
兼任	講師	跡上 史郎 (50) <平成32年4月> 修士(文学)	兼任	講師	跡上 史郎 (51) <平成32年4月> 修士(文学)	兼任	講師	跡上 史郎 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	跡上 史郎 (53) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	跡上 史郎 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ
兼任	講師	本田 曉美 (64) <平成32年4月> 学士(中国語)	兼任	講師	本田 曉美 (64) <平成30年4月> 学士(中国語)	兼任	講師	本田 曉美 (65) <平成30年4月> 学士(中国語)	兼任	講師	本田 曉美 (66) <平成30年4月> 学士(中国語)	兼任	講師	本田 曉美 (67) <平成30年4月> 学士(中国語)
		中国語通訳・翻訳演習			初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅳ 中国語通訳・翻訳演習			中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ 中国語通訳・翻訳演習	兼任	講師	中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ 中国語通訳・翻訳演習	兼任	講師	中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ 中国語通訳・翻訳演習
兼任	講師	田村 由紀子 (50) <平成33年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	田村 由紀子 (50) <平成30年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	田村 由紀子 (51) <平成30年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	田村 由紀子 (52) <平成30年4月> 専門学校卒業			
		ファッション文化史			ファッション文化史			ファッション文化史			ファッション文化史			
兼任	講師	桑原 由吏子 (50) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)	兼任	講師	桑原 由吏子 (55) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)	兼任	講師	桑原 由吏子 (56) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)	兼任	講師	桑原 由吏子 (57) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)	兼任	講師	桑原 由吏子 (58) <平成30年4月> 修士(図書館情報学)
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習(A) 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論 図書館基礎特論 図書・図書館史			読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史			読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史	兼任	講師	読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史	兼任	講師	読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史
兼任	講師	慶田 収 (67) <平成31年4月> 経済学修士	兼任	講師	慶田 収 (67) <平成31年4月> 経済学修士	兼任	講師	慶田 収 (68) <平成31年4月> 経済学修士	兼任	講師	慶田 収 (69) <平成31年4月> 経済学修士			
		経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ			経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ			経済と社会Ⅰ 経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ	兼任	講師	経済と社会Ⅰ 経済と社会Ⅱ			
兼任	講師	吉川 勝広 (53) <平成33年4月> 博士(比較社会文化)	兼任	講師	吉川 勝広 (53) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	兼任	講師	吉川 勝広 (54) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	兼任	講師	吉川 勝広 (55) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)			
		ものづくり論			ものづくり論			ものづくり論			ものづくり論			
兼任	講師	今村 直樹 (40) <平成31年4月> 博士(歴史学)	兼任	講師	今村 直樹 (40) <平成31年4月> 博士(歴史学)	兼任	講師	今村 直樹 (41) <平成31年4月> 博士(歴史学)	兼任	講師	今村 直樹 (42) <平成31年4月> 博士(歴史学)			
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史	兼任	講師	日本近現代史			
兼任	講師	柳 景汰 (55) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	柳 景汰 (55) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	柳 景汰 (56) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	柳 景汰 (57) <平成30年4月> 文学修士	兼任	講師	柳 景汰 (58) <平成30年4月> 文学修士
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習			初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習	兼任	講師	初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習	兼任	講師	初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習	兼任	講師	初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小笠原 淳 (46) ＜令和2年10月＞ 博士（文学）
		日中文化交流史
兼任	講師	道本 ゆう子 (43) ＜令和2年10月＞ 修士（文学）
		中上級総合日本語Ⅱ
兼任	講師	小笠原 淳 (46) ＜令和2年10月＞ 博士（文学）
		日中文化交流史
兼任	講師	道本 ゆう子 (44) ＜令和2年10月＞ 修士（文学）
		中上級総合日本語Ⅱ
兼任	講師	原岡 喜重 (64) ＜令和3年4月＞ 理学博士
		基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ
兼任	准教授	市川 文子 (45) ＜令和3年4月＞ 英語英文学修士
		原書で楽しむ絵本の世界
兼任	講師	小松 義和子 (45) ＜令和3年4月＞ 修士（被服学）
		ファッション文化史

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・ 秦 美香子准教授就任辞退に伴い、平成30年4月 三浦知志を准教授に採用
- ・ 平成30年4月 山本 歩を助教に採用
- ・ 平成30年4月 水谷 智彦を助教に採用
- ・ 平成30年4月川上（多田）知里助教が休職（育児休業）

【令和元年度】

- ・ 平成31年3月 川上（多田）知里助教が自己都合により退職
- ・ 平成31年4月 水谷 智彦助教が生活科学部助教へ配置換
- ・ 令和2年3月 所 吉彦教授が自己都合により退職
- ・ 令和2年3月 岡田 則浩准教授が任期終了により退職

【令和2年度】

- ・ 令和2年4月 柳田 紀代子を教授に採用
- ・ 令和2年4月 北口 英穂准教授を教授に昇任

【令和3年度】

- ・ 令和3年4月 宇野 文重准教授を教授に昇任
- ・ 令和3年4月 金 承珠講師を准教授に昇任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	8	2	1	20	0	10	6	1	1	18	0
(8)	(8)	(2)	(3)	(21)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	6	2	1	18	0	11	7	1	1	20	0
[0]	[△2]	[0]	[0]	[△2]	[0]	[2]	[△1]	[△1]	[0]	[△2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{20} = \boxed{90} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	秦 美香子	H30.4	選択	メディアリテラシー	①	一身上の都合のため就任辞退（H28）						
				選択	メディア表現論	①							
				選択	社会学概論	①							
				選択	社会調査法実習Ⅱ	①							
				選択	アート表現論Ⅰ	①							
				選択	アート表現論Ⅱ	①							
				選択	情報社会論	①							
				選択	マンガ表現論Ⅰ	①							
				選択	マンガ表現論Ⅱ	①							
				選択	文化社会学	①							
				選択	ソーシャルメディア論	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
合計（D）			後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小沢 日美子	H30.3	必修	クリティカル・リーディング	①	辞任等の理由：H30.3.31付け自己都合による退職（H29） 後任補充状況：後任補充なし
				必修	女性と社会	①	
				選択	生涯発達心理学	②	
				選択	教育心理学	②	
				選択	質的調査法	①	
				選択	プレゼンテーション概論	①	
				選択	プレゼンテーション演習	①	
				必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	①	
				選択	課題探究プロジェクト演習Ⅱ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①	
2	助教	川上（多田）千里	H31.3	必修	キャリアデザインⅠ	①	辞任等の理由：H31.3.17付け自己都合による退職（H31） 後任補充状況：後任補充なし
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				選択	ジェンダー表象論 ※	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①	
				必修	卒業論文・卒業研究	①	

3	助教	水谷 智彦	H31. 4	必修	スタディスキル	②	辞任等の理由：H31. 4. 1付け生活科学部へ配置換（H31） 後任補充状況：後任補充なし						
				必修	クリティカル・リーディング	①							
				必修	課題探究プロジェクト入門	②							
				選択	質的調査法	②							
				必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	②							
				選択	課題探究プロジェクト演習Ⅱ	②							
				選択	社会調査法実習Ⅱ	②							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
4	教授	所 吉彦	R2. 3	選択	社会コミュニケーション論入門	①	辞任等の理由：R2. 3. 31付け自己都合による退職（元） 後任補充状況：令和３年度採用を目指し後任補充計画中						
				選択	マーケティング論	②							
				選択	社会コミュニケーション実践論	②							
				選択	観光総論	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
				選択	地域マネジメント研修Ⅰ	①							
				選択	地域マネジメント研修Ⅱ	①							
5	准教授	岡田 則浩	R2. 3	選択	基礎数学Ⅰ	②	辞任等の理由：R2. 3. 31付け任期終了による退職（元） 後任補充状況：後任補充の計画なし						
				選択	基礎数学Ⅱ	②							
				選択	基礎統計Ⅰ	②							
				選択	基礎統計Ⅱ	②							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
5	人	必修	23	科目	必修	20	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	20	科目	選択	9	科目	選択	11	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	43	科目	計	29	科目	計	14	科目	計	0	科目

- （注）・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
6	人	必修	26	科目	必修	23	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	31	科目	選択	20	科目	選択	11	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	57	科目	計	43	科目	計	14	科目	計	0	科目

（3）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{6}{20} = \boxed{30} \%$$

（注）・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由					
合計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当授業科目は、原則、後任補充により対処することとしているが、人気の高い研究領域であったり、需要供給のバランスが取れていない研究領域等の教員の採用については、教員の確保が地方では特に難しく、そのため、ただちに後任補充出来ない等の事情もあることから、専任教員、兼担及び非常勤講師により対応している。

また、学生への周知方法は、教務システムのシラバスにより詳しく周知を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年度)	・ 尚綱大学短期大学部 総合生活学科の定員充 足率の平均が0.7倍 未満となっていること から、学生確保に努め るとともに、入学定員 の見直しについて検 討すること。	学生確保に向けて、教育内容及び学生支援等の充実強化を図り、地元企業への確実な就職と退学者防止の効果を保護者や高校の先生方に周知するように努めた。具体的には、金融系就職支援講座、公務員対策講座に力を入れ、地元金融機関や公務員への就職を増やした。また、退学防止対策班を組織し、きめ細やかな学生対応と保護者会の実施など家庭との連絡を密にして退学者ゼロを達成した。これらの内容を年4回実施する高校訪問で学科独自のチラシ等を作成しアピールした。学生の出身高校には、高校訪問時に学生生活の様子を「総合生活学科ニュースレター」として定期的に卒業まで報告している。保護者対応では、オープンキャンパス時に、説明と共に個別面談を実施している。高校生向けにはオープンキャンパスで在学生との交流で学生生活への不安解消に努め、2年間の学びと将来像をイメージできるように工夫している。平成29年度は入学定員超過率は0.72、平成30年度は0.91に回復した。なお、平均入学定員超過率は、0.81となる。 (総合生活学科) 平成29年度入学者数：58人、平成30年度入学者数：73人 入学定員：80人	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成元年)	○ 入学定員未充足の 改善に努めること。 (現代文化学部 文化コミュニケーション 学科)	指摘事項 (改善)	令和2年度における改善計画として示した事項について、次のとおり実施した。 入学定員未充足に対する今後の改善計画について、昨年度の履行状況及び入試実績を受けて、学部の教育内容の充実や広報活動の強化などを以下のとおりを実施する予定である。特に充実強化を図る内容としては、 ・ 令和3年度に完成年度を迎えたことを踏まえ、授業科目の改廃等カリキュラムの再検討 ・ 専門領域の教育内容、特に観光文化領域の内容の充実と魅力度向上

1. 教育内容を充実し、学部
の魅力を高める。

①語学に関する学修意欲
の向上を図り、高度な語学
力の獲得を進めるため、英
語・中国語・韓国語につい
ての基礎的な授業科目とし
て「Fundamentals of
English I、II」、「総合
中国語」、「総合韓国語」
及び英語の再履修クラスを
新たに開講したほか、高度
な英語力を持つ学生を対象
として、語学以外の科目に
ついて英語で行う授業とし
て「経済と社会Ⅲ」を令和
3年度から開講することし
て準備を進めた。

②情報メディア文化領域及
び観光文化領域について、
熊本県庁前に設置された人
気マンガ「ワンピース」の
キャラクター「ルフィ」の
像の経済効果について学生
が授業内で行った調査結果
を公表するなど、授業内容
や研究成果等の情報発信に
努めた。「ルフィ」の像に
関する調査結果については
新聞・テレビなどで報道さ
れ、学部の教育内容の周知
及び学部の魅力のイメージ
アップに効果をもたらした。

③観光文化領域の学修内容
に関連した熊本県内行政機
関及び観光関係団体との連
携について、新たに着任し
た観光文化領域の専任教員
（元熊本県庁職員）を中心
として授業などでの強化を
進めた。特に、熊本県PR
キャラクターである「くま
モン」を扱った授業を展開
するなど、熊本県庁との連
携強化を図った。

④国際交流の拡充に関し
て、英語圏における語学留
学先について、米国内での
新たな連携先の候補として
ハワイ大学マノア校を選定
し、引き続き調査を進めた
ほか、新たに済州大学校
（韓国）との連携協定の締
結を行った。

・同一キャンパスに立地す
る他学部・学科及び高校と
の連携強化
・高校生に対するより効果
的な学部PR
などを企画し、学部の特性
を強くアピールしていく。
具体的には次のとおりであ
る。

1. カリキュラムの再検討
などにより教育内容の充実
を図る。
授業科目について改廃等も
含めた見直しを行い、学生
の学修意欲の向上、カリ
キュラムの魅力度向上につ
ながるよう、教育内容の充
実を図る。

①完成年度を迎えたことを
踏まえて、教養教育科目か
ら専門教育科目への継続
性、履修者数の実態等を勘
案した上で、授業科目の改
廃、開講年次の変更、配置
領域の見直しなど、カリ
キュラムの魅力度向上につ
ながるよう、教育内容の充
実を図ることを目的とし
て、カリキュラムの再検討
を進める。

②観光文化領域の専門教育
科目について、他領域の授
業科目とのバランスや、観
光業界の現状と将来、また
熊本県内の地域課題等の状
況を踏まえた開講科目の見
直しを行い、領域の魅力度
向上を図る。

③令和2年度に実施できな
かった客員教授（合志マン
ガミュージアム館長）によ
る講座や講義の実施など、
引き続き高校生に関心が高
いマンガ・アニメを中心
に、情報メディア文化領域
の教育内容の充実を図る。

④新型コロナウイルス感染
拡大の下で交換留学等の国
際交流の実施が困難な状況
を踏まえて、オンラインに
よる各交流校との連携交流
を進めるほか、英語圏にお
ける語学留学先について、
引き続き米国内での連携先
について調整を進めるな
ど、国際交流の充実を図
る。

履行中

⑤高校生に関心が高いマンガ・アニメを中心とした情報メディア文化領域の教育内容の充実とPRについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、客員教授（合志マンガミュージアム館長）による講座や授業内での特別講義等については実施を見送り、学部Webサイトを利用した授業内容や研究成果などの情報発信（合計4回）に留めた。

⑥熊本県内に存在するマンガ・アニメ関係施設等の調査や、合志市及び福岡県北九州市の「マンガミュージアム」の見学についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送った。県内観光施設での現地研修については、南阿蘇村の宿泊施設における実務教育や美里町の観光資源を活用した授業など、企業・団体との連携協力による学修の機会を増やし、「楽しく学ぶ」という点の魅力向上を進めた。

⑦Webデザイン、プレゼンテーション等の授業について、当該業務に従事している実務家教員による授業として、令和2年度から「Webデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」及び「プレゼンテーション演習」を開講し、ビジネスの現場で有益な実践的授業の充実を図った。

2. 学部のキャンパス移転を行い、利便性向上、併設高校等との連携強化を図る。

九品寺キャンパスへの学部移転について、令和3年2月末に移転作業を完了し、令和3年度から九品寺キャンパスでの授業を開始した。

①大学Webサイトで学部の移転に関して情報発信を行ったほか、チラシを作成して県内高校に配布し、学部移転の周知を図った。

②交通アクセスの利便性の向上について、学部Webサイトでの情報発信や「キャンパスリサーチ」での高校生・保護者へのPRに努めた。

2. キャンパス移転に伴う他学部・学科、併設高校等との連携強化を図る。

九品寺キャンパスへの移転による利便性向上のPRを継続するとともに、中心市街地に近い立地を活かした企業・団体等との連携協力の推進、同一キャンパスに所在する他学部・学科及び高校との連携強化を進める。

①交通アクセスの利便性を活かし、引き続き県内外からの志願者・入学者の増加を図る。

②授業科目や教員の研究などにおいて、立地を活かした熊本市内の企業・団体等との連携協力を進め、現代文化学部の教育内容等のさらなる周知を図る。

③高大連携授業の開講や希望者を対象とした英語・韓国語講座の実施など、同一キャンパスにある併設高校との高大連携を継続して実施した。

④移転後、同じ九品寺キャンパスに設置されている他学部・学科との合同授業の実施について検討を進め、令和3年度については6科目について合同授業として実施することとした。

3. 広報活動を強化する。

①入試アドバイザーによる高校訪問の結果に基づく意見を受けて、高校生を対象とした現代文化学部のPRとして、学部Webサイトでの授業内容などの情報発信のほか、「現代文化だより」と題した高校向けチラシの作成・配布を行い、学部の広報に努めた。

②大学のWebサイトを活用した学部の情報発信について、授業内容や学部のイベント、教員の研究内容などの紹介についての情報発信を積極的に行った。学部からの「ニュース」については、新型コロナウイルス感染拡大による授業中止期間を除き、概ね週1回以上となる年間合計44回の更新を行った。

③高校生への教育内容の紹介に関して、併設高校との高大連携授業や英語・韓国語講座のほか、高校からの依頼による出前授業などの機会を活用し、情報メディア文化領域、日本・東アジア社会文化領域など、現代文化学部の特徴的な教育内容についての紹介や情報発信を行った。

④オープンキャンパス等による高校生への広報活動について、事前予約制で開催された夏期及び春期の

「キャンパスリサーチ」において、学部の紹介を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大による制約がある中で、広報活動に努めた。

⑤高校生を対象としたイベントについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加者を会場に集める形でのイベントはすべて中止し、「尚綱大学文学賞」のみを開催した。

③同一キャンパスに所在する他学部・学科との合同開講授業について引き続き検討し、特に総合生活学科との関係強化を図り、現代文化学部に興味を示す同学科からの編入学生の増加を図る。

④併設高校との高大連携について、国際交流やサークル活動なども含めて継続して実施し、内部進学者の増加を図る。

3. 効果的な広報活動を実施する。

現代文化学部の知名度の向上、教育内容の周知を図るため、引き続き次の取り組みを行う。

①入試アドバイザーによる高校訪問の結果に基づく意見を受けて、高校生を対象として現代文化学部の魅力を伝える。

②大学のウェブサイトを活用した情報発信について、学部の特徴的な授業やイベント、教員の研究内容及び学生の活動、さらに「くまモン学」に関する活動などの紹介についての情報発信を引き続き積極的に行う。学部からの「ニュース」については、概ね週1回の更新を行う。

③中高大連携授業を活用し、韓国語、観光文化領域、マンガ・アニメなどの情報メディア文化領域等、現代文化学部の特徴的な教育内容について、高校生への教育内容の紹介の機会を拡大できるよう働きかけを行う。

④オープンキャンパス等の機会を活用した高校生及び保護者に対する学部のPR活動を引き続き行う。

⑤新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえつつ、高校生を対象としたイベントについて、これまで実施してきた「ビブリオバトル」「外国語スピーチコンテスト」「尚綱大学文学賞」に加えて、マンガ・アニメに関するイベントの開催を検討し、県内高校生に対して参加を呼びかける。特に、マンガ・アニメに関心を持つ高校生に強くPRができるよう、イベントの周知を通して、教育内容の周知と併せて学部の知名度の向上を図る。

			この結果、令和3年度入試における志願者は、前年度に引き続き入学定員（75人）を上回る90人となった。入学者（1年生）は、前年度に比べて10人増の55人となり、入学定員（75人）の70%を超えた。併設高校からの内部進学者は前年から6名増加し15名となった。依然として入学定員未充足の状況が続いているが、現代文化学部の特徴的な専門領域である国際関係・観光関係について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全国的に出願者が減少したという傾向が、入学者数の増加が鈍かったことの原因として考えられる。引き続き、入学者のさらなる増加に結びつけることが課題と認識している。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの開催や学外施設の見学、客員教授による講演・講義など、計画していたものの中止せざるを得なかった取り組みも多かった。これらの取り組みについては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、今後の実施について引き続き検討していく。	
--	--	--	--	--

- （注）・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<現代文化学部 コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、教職員の資質向上を積極的に推進するため、全学的機関として「SD・FD委員会」及び及びその下部組織である「SD推進部会」「FD推進部会」を設置し、年間計画に基づく具体的な諸活動に取り組んでいる。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度は、コロナ化の影響もあり、SD・FD委員会は年1回、SD推進部会は年1回、FD推進部会は年6回開催した。なお、関連会議の構成員は以下のとおりである。

【SD・FD委員会】

学長、学長補佐、学部長、短期大学部長、学科長、学園事務局長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【SD推進部会】

学部長、短期大学部長、学科長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【FD推進部会】

学部長、短期大学部長、学科長、学科選出教員各1名、教務課長、大学企画室長、大学企画室課長

c 委員会の審議事項等

【SD・FD委員会】

- 1) SD・FDの基本方針策定
- 2) SD・FDの単年度事業計画及び中長期計画の策定
- 3) その他教職員の能力開発に関し必要なこと

【SD推進部会】

- 1) SDの実施計画策定
- 2) 大学運営に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質を向上させるための諸施策の企画及び実施
- 3) その他SD推進に必要なこと

【FD推進部会】

- 1) FDの実施計画策定
- 2) 授業内容及び方法の改善を図るための諸施策の企画及び実施
- 3) その他FD推進に必要なこと

② 実施状況

a 実施内容

- 1) SD研修会
- 2) FD研修会
- 3) 教員相互の授業参観（オープンクラス・ウィーク）
- 4) 授業改善アンケート
- 5) 新任教員のための研修会
- 6) 学生との意見交換会

b 実施方法

- 1) SD推進部会で年間計画を策定し、学内での開催及び学外で開催される研修会へ参加している。
- 2) FD推進部会で研修内容を検討の上、年2回開催している。
- 3) 年に1回、3週間の期間を設けて原則全授業を公開し、教員が相互に参観してレポートを提出している。
- 4) 前・後期に各1回、原則、開講された全科目を対象として実施している。
- 5) SD及びFD活動に関する内容も含めた研修会を4月に実施している。
- 6) 学生と教員の意見交換会を2月に開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和2年度実績＞

- 1) 学内研修会を6回開催（うち、新入事務職員のみを対象とした研修会が2回）、学外研修会には6回参加。
 - 2) 10月に「数理・データサイエンス教育の必要性、社会での活用方法」をテーマとして、九州大学基幹教育院の木實教授による講演を行った。（参加者34名）
 - 3) 11月上旬から11月下旬に実施し、92.1%の教員が参観した。
 - 4) 前期期末・後期中間期に各1回実施。また、後期の期末に任意で1回実施。
なお、前期中間期は新型コロナの影響で中止。
 - 5) SD及びFDに関する研修は、平成30年度から実施しており、新任教員は全員参加。
 - 6) 2月に学科ごとに開催し、全学科の議事要録を報告書としてまとめ、共有した。
- ※「教員の参加状況」は、教授から教員助手までの実績を示す

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度から「授業改善アンケート」を各期中間の授業回に実施（ただし、令和2年度は新型コロナの影響により前期中間実施分を前期期末に実施）し、当該授業へのフィードバックを行っている。令和2年度の諸活動として、教職員の資質向上のためハラスメントやコンプライアンスをテーマにSD研修会を年間延べ10日間開催のほか、「数理・データサイエンス教育の必要性、社会での活用方法」をテーマにFD研修会を年1回開催した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和2年度から各期7～10回目の授業で実施している。ただし、新型コロナの影響により、令和2年度の前期のみ11回目～13回目の授業で実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目の担当教員による「分析・評価」及び「今後の取り組み」が記載された科目別集計票を、学内専用サイトで期間を限定し公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度は、現代文化学部設置3年目として『尚綱大学現代文化学部設置届出書』に記載した計画に基づき、適正な変更を加えながら、授業の開講等学部の運営にあたった。入学者に対しては昨年度に引き続き作成した『現代文化学部履修ガイド2020』を配付し、また2年生・3年生については入学時に配付した『履修ガイド』などを活用して、各学年のカリキュラムについての履修指導を行った。

入学者の定員未充足の状況に対しては、学部、入試委員会及び入試委員会大学実施部会等における検討を行い、現代文化学部の周知活動に努めた。新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、夏期に開催予定であったオープンキャンパスについては、高校3年生のみを対象とした事前申し込み制での「キャンパスリサーチ」として開催した。また高校生を対象としたイベントについても、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見送った。このため、高校生に向けた学部のPRについては、Webサイトを活用した情報発信を中心として行い、学部の教育研究活動の成果と魅力を伝え、学生確保に取り組んだ。その結果、全国的に観光系、国際・外国語系学部の人気後退、特に国際・外国語系学部の志願者が8割程度に減少している中であって、現代文化学部の令和3年度入学者は、前年度から10名増加の55名となった。しかし、引き続き定員未充足の状況となっていることから、今後は、現代文化学部の教育研究活動等に関する情報発信をさらに積極的に行うとともに、学部の九品寺キャンパスへの移転による魅力度向上を図り、学生確保に繋げていく。また、教育内容及び方法についても充実を図り、設置の趣旨・目的に沿った人材育成と共に入学者が満足できるような新学部の活動の充実に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年7月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ウェブサイトへの掲載

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受診し、平成30年3月に「大学評価基準に適合していると認定する」との評価結果を受けている。評価結果は、日本高等教育評価機構及び本学のホームページにて公表済み。
- ・次回の認証評価については、令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

- a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [公表後2～3ヶ月以内]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。